



2022年5月11日

各 位

会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久
(コード：2884、東証プライム)
問合せ先 取締役CFO 安東 俊
(TEL. 03-6206-1271)

(訂正) 「2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年1月14日に開示いたしました「2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2022年5月11日)付「過年度の決算短信等及び有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	22,143	1.2	421	△37.0	561	△21.0	273	△15.8
2020年2月期第3四半期	21,884	27.7	669	263.4	711	195.1	325	140.9

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 △128百万円 (-%) 2020年2月期第3四半期 194百万円 (43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	12.20	12.08
2020年2月期第3四半期	14.72	14.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	22,746	6,207	19.2
2020年2月期	23,335	6,135	17.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 4,369百万円 2020年2月期 4,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	0.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,900	3.4	910	12.6	922	24.6	420	137.2	18.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社香り芽本舗、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	22,581,095株	2020年2月期	22,171,795株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	2,323株	2020年2月期	2,323株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	22,433,084株	2020年2月期3Q	22,080,178株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いております。段階的に社会経済活動が再開されたことで回復の兆しも見え始めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の懸念は払拭されず、先行きは不透明な状況が続いております。

国内の食品業界は、巣ごもり消費により大手量販店、食品スーパー、ドラッグストア等、小売店向けの需要は安定した一方で、外食産業、観光産業向けの需要は、政府による消費喚起策により回復傾向がみられたものの、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の下で当社グループは、「中小企業支援プラットフォーム」を活用し、傘下企業間のシナジー効果を発揮することで企業価値の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、産業給食、飲食店および観光産業向けの売上は減少したものの、スーパー等小売店向けの売上は増加したことで、前年を上回る結果となりました。海外事業は、スーパー等小売店向けの売上は増加するとともに、シンガポール国内の消費拡大により飲食店向けの売上が回復してまいりました。一方で、引き続きホテル向け、航空関連およびケータリング向けの売上が減少したことにより、前年を下回る結果となりました。

その結果、売上高は、22,143,172千円（前年同期比1.2%増）、営業利益は、421,474千円（前年同期比37.0%減）、経常利益は、561,910千円（前年同期比21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益273,784千円（前年同期比15.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 製造事業

製造事業につきましては、M&Aにより国内および海外事業の拡大を図るとともに、「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、取引先の新規開拓、新商品の開発や生産効率化等の取り組みをおこなってまいりました。こうした中、国内子会社は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い巣ごもり需要が増加したことや株式会社香り芽本舗をグループ化したことで増収増益となる一方、海外子会社は、第2四半期における部分的ロックダウンの影響およびホテル向け等の売上が減少したことから、減収減益となりました。その結果、売上高は、16,424,265千円（前年同期比7.2%増）、利益は、513,141千円（前年同期比14.1%減）となりました。

② 販売事業

販売事業につきましては、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への深耕および企画販売の強化に努めてまいりました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内子会社は主に産業給食向けの売上が減少した一方で生協向けの売上は増加しました。海外子会社は第2四半期における部分的ロックダウンの影響が大きく外食、ホテル向けの売上は減少した一方で、第3四半期からはシンガポール国内での消費が活況となり、飲食店向けの売上高は回復に向かいました。その結果、5,718,906千円（前年同期比12.9%減）、利益は、307,926千円（前年同期比28.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は22,746,948千円となり、前連結会計年度末に比べて588,289千円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少938,651千円、無形固定資産の減少432,756千円、たな卸資産の減少471,924千円、有形固定資産の減少200,110千円、投資その他の資産の減少51,232千円および現金及び預金の増加1,434,117千円があったことによるものです。

負債は16,539,507千円となり、前連結会計年度末に比べて659,791千円減少しました。これは主に、買掛金の減少440,984千円、その他流動負債の減少422,099千円および借入金等の増加348,588千円があったことによるものです。

また、純資産は6,207,440千円となり、前連結会計年度末に比べて71,502千円増加しました。これは主に、資本金の増加100,455千円、資本剰余金の増加100,455千円、利益剰余金の増加273,784千円、非支配株主持分の減少110,389千円および為替換算調整勘定の減少300,928千円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響、特に緊急事態宣言の発出によって今後の見通しが立てにくいこと、および子会社の季節性等を勘案し、当初予想を据え置いております。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,015,143	4,449,261
受取手形及び売掛金	5,585,039	4,646,388
商品及び製品	4,459,138	3,516,657
原材料及び貯蔵品	891,189	1,361,746
その他	230,474	329,085
貸倒引当金	△32,894	△59,236
流動資産合計	14,148,090	14,243,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,590,723	1,555,234
機械装置及び運搬具(純額)	925,041	838,712
その他(純額)	1,612,504	1,534,211
有形固定資産合計	4,128,269	3,928,158
無形固定資産		
のれん	4,113,275	3,707,932
その他	139,135	111,722
無形固定資産合計	4,252,411	3,819,654
投資その他の資産		
その他	826,831	775,427
貸倒引当金	△20,366	△20,194
投資その他の資産合計	806,465	755,232
固定資産合計	9,187,146	8,503,046
資産合計	23,335,237	22,746,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,757,557	2,316,572
短期借入金	3,039,881	1,363,920
1年内償還予定の社債	55,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,513,890	1,750,550
未払法人税等	342,690	300,103
未払消費税等	151,327	65,179
賞与引当金	155,062	204,730
その他	1,734,173	1,312,073
流動負債合計	9,749,583	7,313,130
固定負債		
長期借入金	7,119,277	8,962,168
退職給付に係る負債	13,097	32,466
その他	317,339	231,742
固定負債合計	7,449,715	9,226,377
負債合計	17,199,299	16,539,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	527,841	628,296
資本剰余金	1,379,734	1,480,189
利益剰余金	2,216,063	2,489,847
自己株式	△759	△759
株主資本合計	4,122,879	4,597,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,396	12,152
為替換算調整勘定	60,248	△240,679
その他の包括利益累計額合計	63,645	△228,527
新株予約権	1,212	582
非支配株主持分	1,948,200	1,837,811
純資産合計	6,135,938	6,207,440
負債純資産合計	23,335,237	22,746,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	21,884,623	22,143,172
売上原価	17,310,430	17,340,196
売上総利益	4,574,192	4,802,976
販売費及び一般管理費	3,905,062	4,381,501
営業利益	669,130	421,474
営業外収益		
受取賃貸料	18,689	22,448
補助金収入	—	145,735
受取補償金	20,201	14,555
その他	29,709	38,762
営業外収益合計	68,600	221,501
営業外費用		
支払利息	19,883	19,967
為替差損	—	57,853
その他	6,779	3,245
営業外費用合計	26,663	81,065
経常利益	711,068	561,910
特別利益		
固定資産売却益	392	2,863
特別利益合計	392	2,863
特別損失		
固定資産売却損	29	—
固定資産除却損	5,370	3,199
特別損失合計	5,399	3,199
税金等調整前四半期純利益	706,061	561,574
法人税、住民税及び事業税	270,592	282,501
法人税等調整額	10,739	40,514
法人税等合計	281,332	323,015
四半期純利益	424,729	238,558
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	99,624	△35,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	325,104	273,784

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	424,729	<u>238,558</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	8,755
為替換算調整勘定	△230,312	<u>△377,496</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	—	<u>1,404</u>
その他の包括利益合計	<u>△230,516</u>	<u>△367,336</u>
四半期包括利益	<u>194,213</u>	<u>△128,778</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,402	<u>△18,388</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	78,810	<u>△110,389</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月18日付で、株式会社ピー・アンド・イー・ディレクションズ及び株式会社ピー・アンド・イー・アセットマネジメントから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が74,913千円、資本準備金が74,913千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が628,296千円、資本剰余金が1,480,189千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,315,050	6,569,573	21,884,623	—	21,884,623
セグメント間の内部売上高又は振替高	278,812	217,618	496,430	△496,430	—
計	15,593,862	6,787,191	22,381,054	△496,430	21,884,623
セグメント利益	597,717	427,514	1,025,231	△356,100	669,130

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,424,265	5,718,906	22,143,172	—	22,143,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	298,851	142,981	441,833	△441,833	—
計	16,723,117	5,861,888	22,585,005	△441,833	22,143,172
セグメント利益	513,141	307,926	821,067	△399,593	421,474

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。